

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



三谷 将太

(奈良/92期)

1月名古屋の落車でちょっとずれただけ、計画的にはやってる。石垣島合宿とかプランは立ってるし、あとはしっかりこなすだけ。地元勢を引っ張っていくのは竜生に頼んで。まずはしっかり決勝に乗って、みんなをピリッとさせるのが僕の役目です。

三谷 政史

(奈良/93期)

(将太・竜生と)兄弟3人で地元記念に呼んでもらえたのはうれしいです。弟たちには負けられないですけど、まずは盛り上げられるように。3人で決勝に乗りたいですね。2月に奈良支部で石垣島合宿があるので、そこで士気を上げて備えたい。



元砂 勇雪 (奈良/103期)

今期はS級にカムバック。初戦の1月名古屋で予選快勝と好スタートを切ると、2月小松島の準決は好位キープからまくって1着と動き軽快。地元戦に向けていい流れで来ているので注目したい。



小原 唯志 (茨城/101期)

調子を落としている時期もあったが、昨年12月あたりからスピードが甦ってきた。ここ5場所は4回優参、1月伊東の準決では古性優らに勝っている。今回は久しぶりの記念参戦でいつも以上に気合も入る。



桑原 亮 (福岡/91期)

このところ流れがいい面はあるものの、1月和歌山記念で4②③④着と決勝に進出すると、その後も毎場所連にからんでいる。伸びがいいので、同格戦は人気の有無にかかわらず注意したい。

S級ブロックセブン

3/1 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

動きのいい畑段嵐士を本命に推す。Vこそ18年8月向日町からないが、近況は安定しており、1月和歌山1①②着、2月大宮1②③着。前々からのまくりを主に、流れで位置を狙いにくくレースもあるし、先行勝負もと戦法の引き出しは多い。近藤隆司、篠原龍馬の同型の動向を見極め、好機に踏み出して、マーク今藤康裕と上位独占を図る。

近藤は相変わらずの乱調気配ながら、予選や負け戦では1着が多く、戦える状態はキープしている。伏見俊昭に、中川貴徳も加勢してライン3車なら、まくりより先行を主体に考えた仕掛けだろう。そうならば、2月岐阜①②⑤着など差し脚好調な伏見に勝機到来だ。

先手有力な篠原次第では、松尾信太郎にも出番がある。

動き軽快な
畑段嵐士



畑段 嵐士